きららだより

平成27年10月号（夏秋号VOL.14）

納涼祭

～omatsuri～

８月２２日（土）、納涼祭を開催致しました。

前日までの天気が嘘のように空が晴れ渡り、絶好のお祭り日和となりました。時間帯によっては気温が３０度を超え、ご利用者様にとっては厳しい天気だったかと思いますが、出店や催し物などに多くのご利用者様、ご家族様に足を運んで頂き、盛大なお祭りにすることができました。ご利用者様がご家族様と談笑されている姿や、椅子に並んで座り美味しそうに召し上がっている姿などを拝見していると、今年も納涼祭を開催できて本当によかった、と思います。

今年も焼きそば・焼き鳥・いなり寿司・かき氷などの屋台に、恒例のよさこい・女装大会など多くの催し物が行われました。よさこいは年々勢いを増しておりこの日の為に特訓を積んできた選ばれし７名の躍動する姿に歓声が起こり、また女装大会ではタイプの異なる男性職員がエントリーし、会場がどよめきと笑いに包まれました。なお女装大会の結果が妥当な線で落ち着いたことは言うまでもありません。

施設に入所されていると季節を感じることが難しいと言われていますが、この納涼祭で、ご利用者様には「夏」を思いきり楽しんで頂けたのではないかと思っております。
職員にとっても納涼祭は特別な行事で、普段では見られないご利用者様の表情などを垣間見ることができ、毎年有意義な時間を過ごさせて頂いております。

おかげさまで、きららの納涼祭は６回目を迎えることができました。「来年はもっとご利用者様、ご家族様に楽しんで頂けるようにしたい・・・」
祭りのあとの寂しい気持ちと共に、来年の納涼祭へと思いを募らせ、皆様に楽しんで頂けるお祭りを職員一同考えてまいります。

コラム　主治医の処方箋（その8）

高齢者の“こころ”に響く音楽療法

介護老人保健施設きらら
施設長　河野伸造

音楽療法は認知症に有効であるか、これまで議論されて来ていますが未だに結論に達していません。当施設でも音楽専門家がいろいろな病を抱えたご高齢の入所の方に対して音楽療法を積極的に行っていますが、私は通りすがりにその場の様子をよく見ています。

普段は自室で時間を過ごされている方や、認知機能が低下している方がピアノに合わせて活き活きとした表情で楽器（カスタネット、タンバリン）を鳴らしリズムをとり、また歌っておられるのを観ています。中には、目が涙で潤んでいる方を見受けることもありますが、恐らく昔のことを懐かしく思い出しておられるのが窺われます。

このように音楽は、昔の記憶を呼び起こして、感情の変化を起こしています。もう少し詳しくその反応経路を述べますと、聴いた音楽は聴神経を介して大脳側頭葉にある聴覚の中枢（注）に伝えられ、そこから記憶の中枢（注）に伝達され記憶を呼び起こし、思考・判断されて感情や運動の中枢（注）に伝えられ、手足を動かし、顔面の表情筋が反応していると考えられます。

それでは、“手足の動き、感情等の意志表現ができない重症の脳障害を抱える方は何も感じていないのか”という疑問を持たれるかもしれませんが脳の神経細胞には再生能は殆どないが各中枢の間には神経線維が網の目のように張り巡らされて連携されているので、表現障害で神経線維の回路が絶たれても残った神経線維の回路で補うことが十分できますので、脳の中（こころ）で音楽は響き感知されていると論理的に考えられます。

このように脳障害を抱える方に対する音楽療法の効果については、感度の良い検査方法がなく十分に立証されていませんが、感性を高めるために積極的に行われることが望まれます。

（注）
中枢：身体機能の調節を司る（指令する）神経細胞が、多数集まった部位。

5階誕生日会＆敬老会

９月２４日（木）、敬老会と誕生日会をＣユニットで行いました。ご利用者様の誕生日をお祝いするとともに、今年で１０１歳になられるご利用者様のお祝いをしました。

ご利用者様個人個人でお祝いの歌をプレゼントしたり、職員からプレゼントされたコップを嬉しそうに使われる場面もあり軽食や飲み物を美味しそうに召し上がり、沢山の笑顔が見られました。

中でも１０１歳になられるご利用者様は自ら歌を３曲ご披露するなど、とても元気なお姿を見ることができ、まわりのスタッフも含め元気を頂き、楽しい時間を過ごすことができました。

焼きたて秋刀魚を食べよう！

秋の味覚の代表選手、熱々（あつあつ）の『秋刀魚』を召し上がっていただきたく、デイご利用者様の目の前で焼いてお出ししました。

まずはバーベキューセットに炭をおこし、さっと塩を振った秋刀魚を網に乗せます。

ジュージューと焼ける匂いと煙で、ご利用者様のわくわく感も伝わってきました。

大根おろしを添え、さあどうぞ

『美味しかったぁ～』の笑顔に包まれ、皆様完食。食事と共に季節も愛でていただきました。

９月２５日（金）

いも煮会　開催！

平成２７年９月３０日（水）、金木犀の甘い香りが漂う正面玄関入口付近のスペースにて、１４時より「いも煮会」を行い、ポカポカ陽気の中、４階のご利用者様１２名が参加されました。

じゃがいも、里いも、しらたき、にんじん、大根、玉ねぎなどの具材とだしが入った鍋を沸騰させたあと、しょうゆ、お酒を入れ、何人かのご利用者様につゆの味見をして頂きました。

「いいお味！」と太鼓判を押して頂いたところで、最後にねぎを入れ火を止めると、ねぎの香る、おいしそうな「いも煮」のできあがりです。

さらにおいしく召し上がって頂こうと、職員３名によるウクレレ演奏も行われました。「レット・イット・ビー」は引き語りにて披露され、「ふるさと」は職員手作りの歌詞カードを手にしながら、ご利用者様も楽しそうに合唱に参加されていました。

ご利用者様のよい思い出になってくれたらと、職員一同願っております。

お願い・お知らせ

感染症が流行する季節となりました。ご面会の際には、手洗い、マスク着用をよろしくお願い致します。マスクは事務室受付カウンターにございますので、ご利用下さい。また、ご利用者様の健康を第一に考え、風邪症状のある方や体調のすぐれない方の面会をご遠慮いただく場合等がございますので、ご協力をお願い致します。

きららでは、１０月からご入所者様にインフルエンザ予防接種を行っています。ご希望の場合には予診表をご記入の上、１階事務室にご提出下さいますようお願い致します。

なお、予診票は事務室でもご用意致しておりますので、お声掛け下さい。